



パイズリあくま

拾った悪魔にパイズリ搾精されるボク

フルカラー漫画
本文 31p

リリス

少女体 身長156cm B/W/H 100(Jカップ)/58/88

成人体 身長180cm B/W/H 110(Jカップ)/62/92



主人公に拾われた傷ついた悪魔
最初は口数少なく大人しかったが、主人公の看病により
復活するも主人公に対しパイズリ搾精を行うようになる。
主人公の精子を吸い身体も成人体へと変化。
果たして彼女がパイズリを執拗に行う理由とは

ある日
ボクは傷ついた
悪魔を見つけた



薬売りとして生活
しているボクは今日の
商売の帰り道

見た目はボクと
同じ年齢くらいの
悪魔が座り込んでいた

悪魔はどうやら
喋る事ができない
みたいだ

代わりに弱った眼で
僕に語りかけてくる



この世は今
人間と悪魔が
争いを続けて
いる……

すっ
だけど、ボクは
常日頃考えていた
「人と分かり合える
悪魔もいるハズだ」と



薬屋として
傷ついた人を放つては
おけなかった……
たとえそれが悪魔だと
しても……

それにボクは
子のことわかりあえる
事ができたら……
なんて少し希望を抱いた



ハズだったのに

あっ♡あゝっ……
リ……リリス……♡

や、やめて……
それ以上は……!!

も
う……っ

もう
ムリッツ
♡

彼女を連れ帰ってから
毎日のようにボクは
こうして搾精される
ようになってしまった

ボクは彼女に
「リリス」という名を
付けて呼ぶことにした

ボクはリリスに
充分な食事を
与え……



ケガを治療し
ゆっくり休息
できる場を与えた

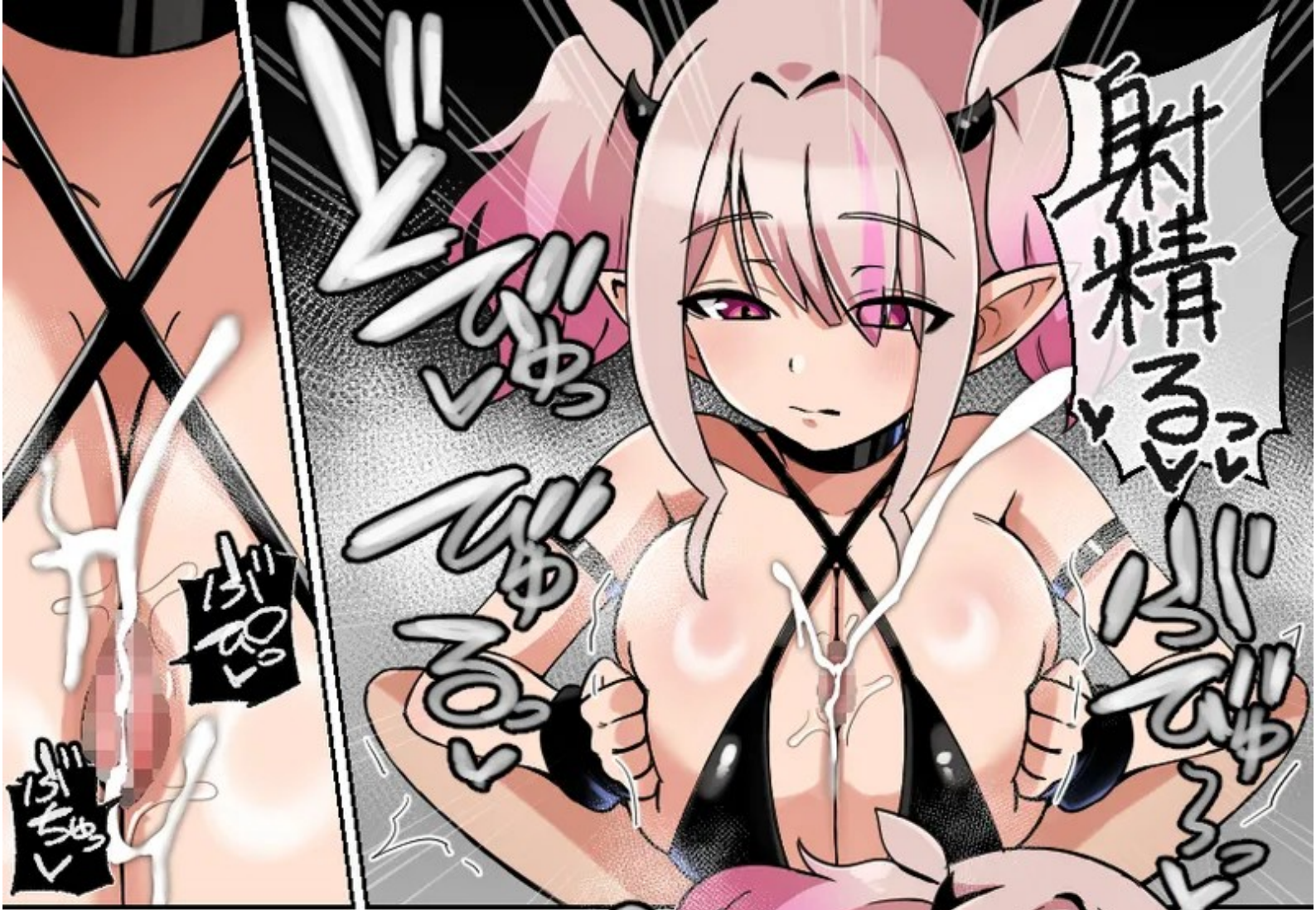
そのかいあってか
リリスはみるみる
うちに回復した

まだ言葉を
発することは
できなさそう
だったけど……

そんな彼女を見て
「わかり合える時が
きたんだ!」と
感動していたのに……

ボクに少しずつ
心を開いてくれて
いるのを感じた





リリースの怪我が
完治してすぐだった
彼女がこのような
行為を行うように
なったのは

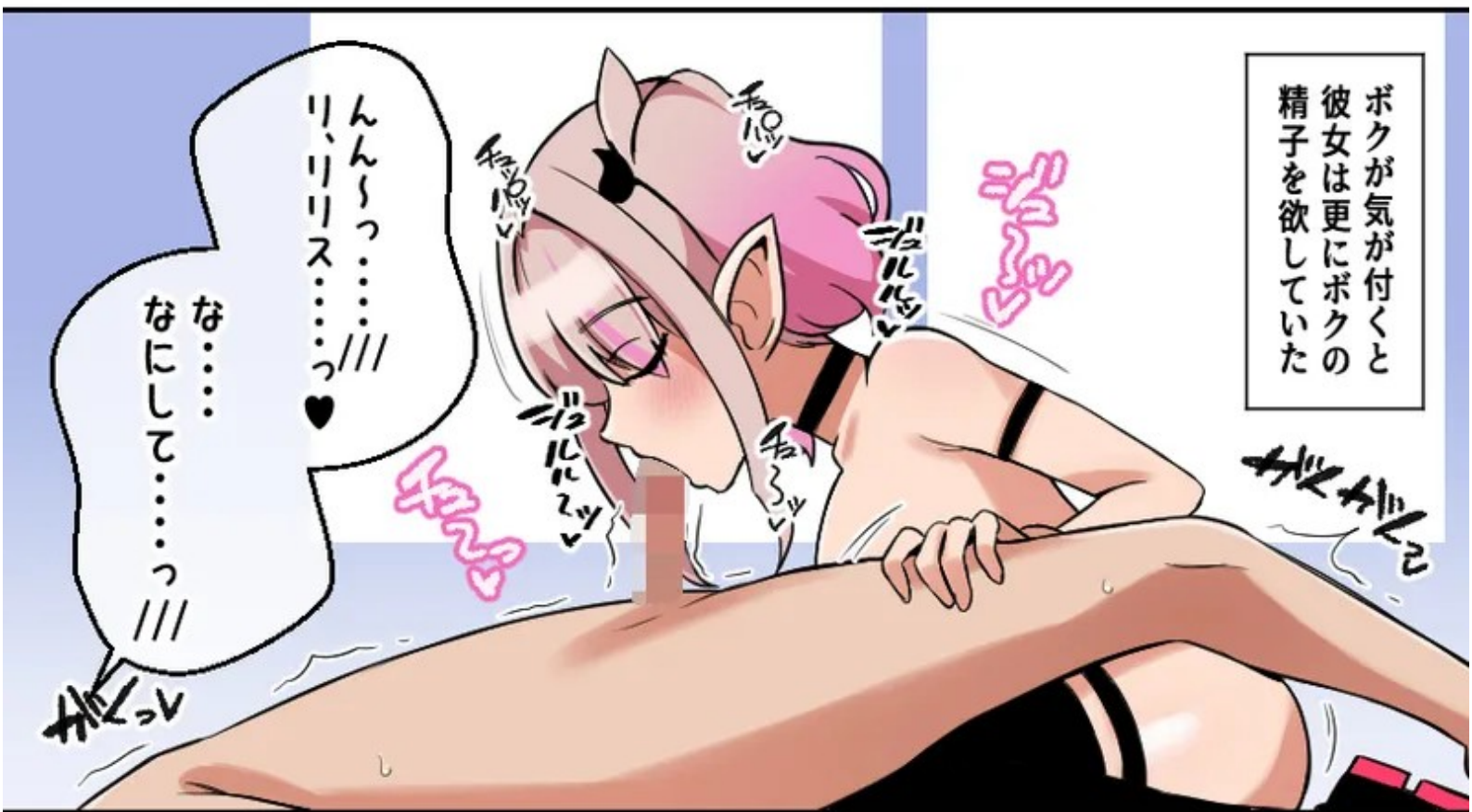
理由を聞いても
物言えぬ彼女は
無言でひたすら
胸で搾精行為を
続けるのだ...

この行為の後
ボクは決まって
気を失ってしまう

ど...
どうして...

こんな...

気を失う直前
彼女が笑っている
ような気がした







ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

て

も...

!?

えっ...
精液を垂らして
な、何を...

ぽろ

ぽろ

ぽろ

ぽろ

ぽろ

...

待ってよ!!
今敏感になって
いるから...!!

ま、待って!!
リリス!! 待って!!



これ以上は
もう...っ!!

こわれる!!
これれちゃう
よあっ!!

かほっ

ハッハッ

ボクがどれだけ
身をよじらせても
彼女はボクを逃が
そうとはしなかった

うう...



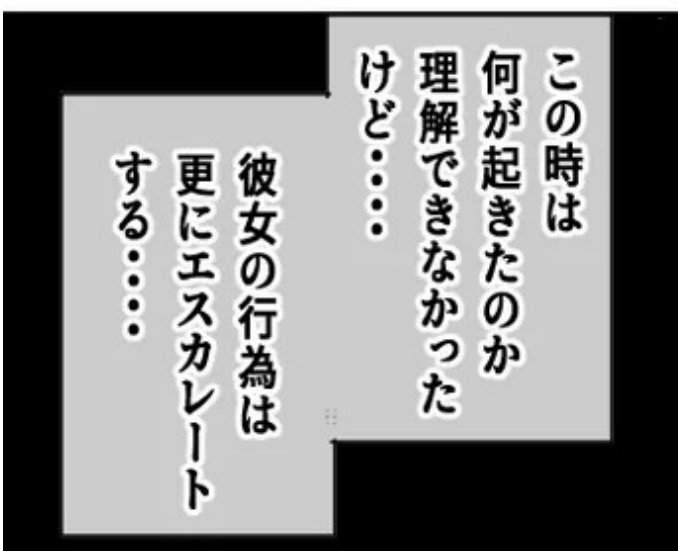
彼女の身体は
何故か明らかに
成長を見せていた



ようやく解放されたと
思ったその時……



!?



この時は
何が起きたのか
理解できなかった
けど……

彼女の行為は
更にエスカレート
する……

リリースを連れ帰って
すでに数週間が経っていた

ああーッ

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

そんなところ……

だ……ダメエ!!!

彼女はおっぱいで
何度もしつこく
ボクの精子を
搾り取った

何故おっぱいで
こんな事を続ける
のかさっぱりわか
らなかったけど

抗うことも出来ず
ボクは彼女にいいように
されていた……

ブルブル

ブルブル

ううーッ

ブルブル

ブルブル



リリースはどれだけ
僕がどれだけ射精しても
お構いなしに行為を続ける

ようやく言葉を話せる
ようになったかと思えば
精液の要求しかしてこない

もっと
……♡

ええ……!?



リリースの行為は
ついに時間を
選ばなくなり……

睡眠前はもちろん
入浴時でもかま
いなしにボクの精液
を求めてきた

お……
ま……待ってえい

ヌルヌル
気持ちいい……っ



ボクに安息の
時間は無くなって
いった

ズル

また
イッ……

ギャー……

リ……
リリース……ッ!!

い、一体何が
目的なの……!?

なんで毎日
こんなことばかり
続けて……

やっぱり君は……
ボクをじわじわと
追い詰めて殺す
つもりなのか……?



殺す……?

何故?

私はご主人様に
すごく感謝して
いるんですよ?

!?



ご主人様が
傷ついた私を
助けてくれた時……

私、ご主人様の
思考が少し読めたん
です

知ってましたか？
悪魔は人間の
考えている事や
欲望がわかるん
ですよ？

その時のご主人様
こう考えていました
よね……？

このおっぱいを好きにしたいって……♡

たゅん

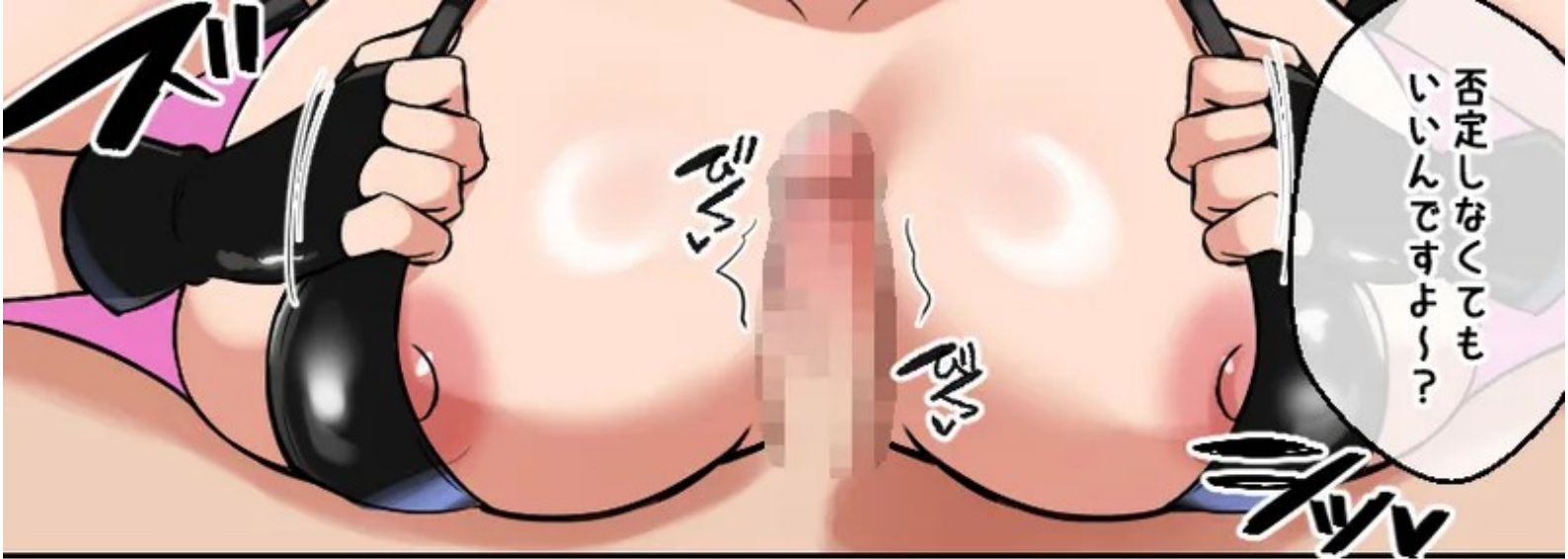
な、何を
言ってるんだ!?

えっ!?

ほ、ボクはそんな
つもりで君を助け
た訳じゃ……!!

ふっ……

ドキ





いやあん
激しっ♡

ボクの身体は完全に
リリースに支配され

自分の意思とは
関係なく、彼女の胸に
身を委ねた

はあん♡
やあん♡

すっこい♡
ご主人様♡

おっぱい
孕まされそう
です♡

わざとらしく
喘いで挑発する
だけどボクは何も
できなかった



悪魔と人間は
分かり合う事が
できないと……

あんっ♡ご主人様♡
とくっても恥ずかしい
かつこうで……

おっぱいに
パンパンッ♡て
しちゃってますね♡

ずっ
ちゅっ

ずっ
ちゅっ

はん
はん

はん
はん

はん
はん

いっっぱい私を
感じてくださいね♡

えっ……

んっ！！

彼女にとっては
恩返しのため
だろうけど

[illegible][illegible]

彼女の支配から

ボクはもう
逃れる術を
なくした

ぐわっ

ぐわっ

彼女の支配から

ボクはもう
逃れる術を
なくした

ぐわっ

ぐわっ

あんっ

んも!!

あんっ♡ご主人様♡
そんなに動かないで
くださいよぉ♡

お〇んちん
挟み辛いじゃない
ですかぁ♡

すき

ズン
ズン

ん
ん
ん

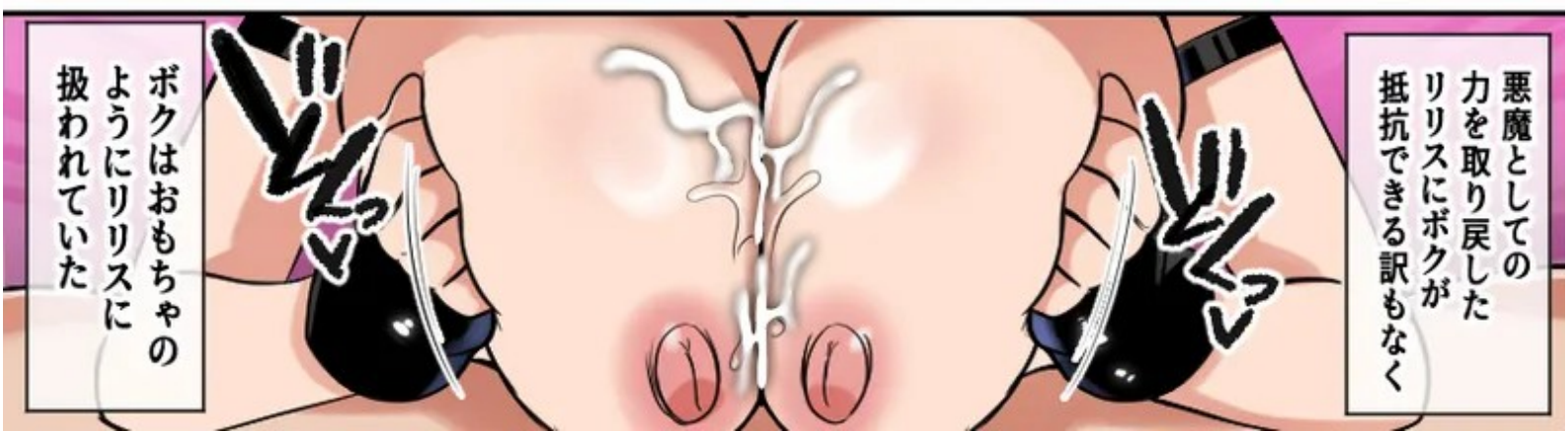
ん

ん?
なんですか?

もう少し
大きな声で
言ってください
……

ん

おっ



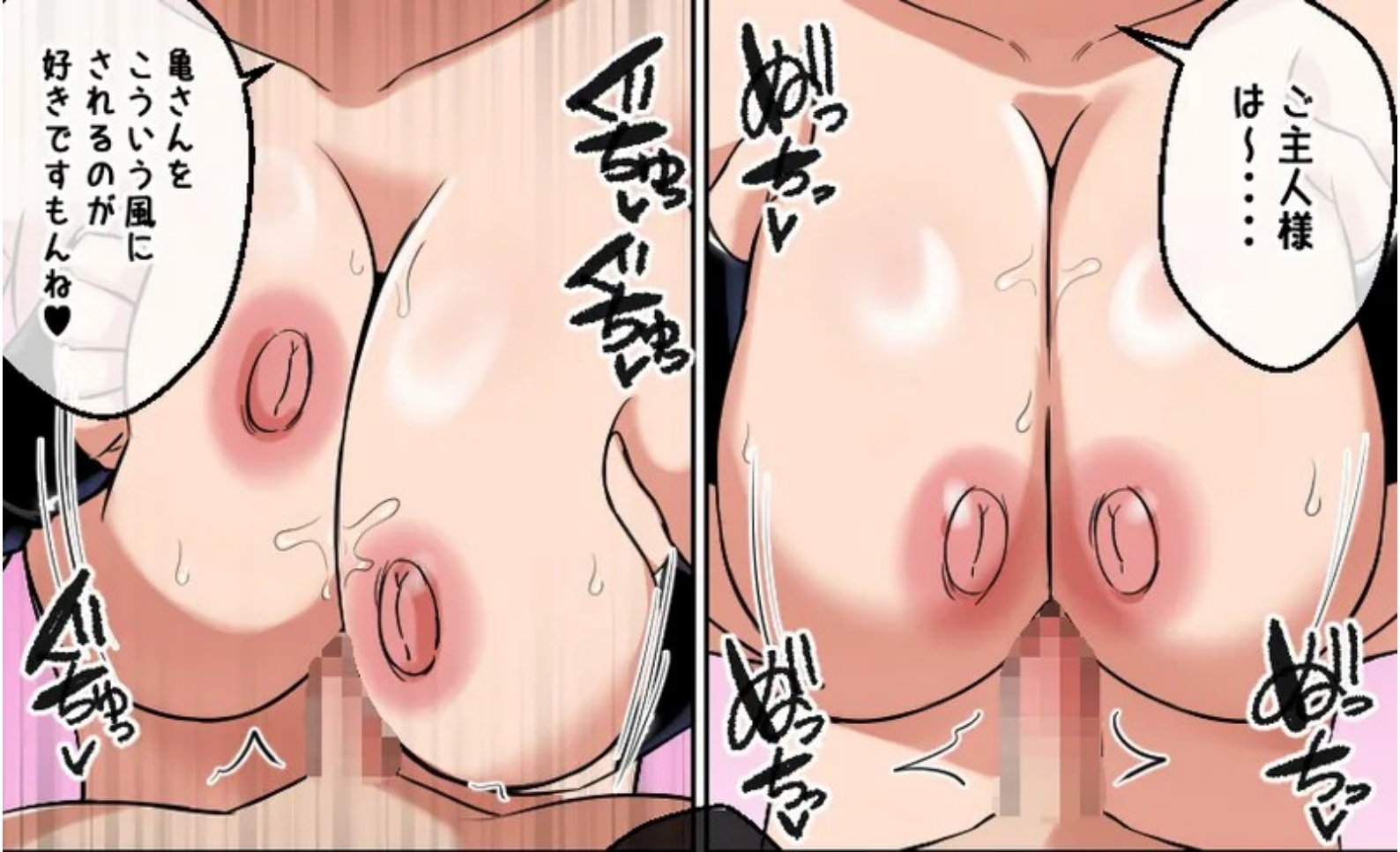
ねっ♡

あっ♡
また射精た♡

おちんちんでお返事なんて
ご主人様ハホントに
えっちですね♡

悪魔としての
力を取り戻した
リリースにポクが
抵抗できる訳もなく

ポクはおもちやの
ようにリリースに
扱われていた



ご主人様
はく……

亀さんを
こういう風に
されるのが
好きですもんね♡

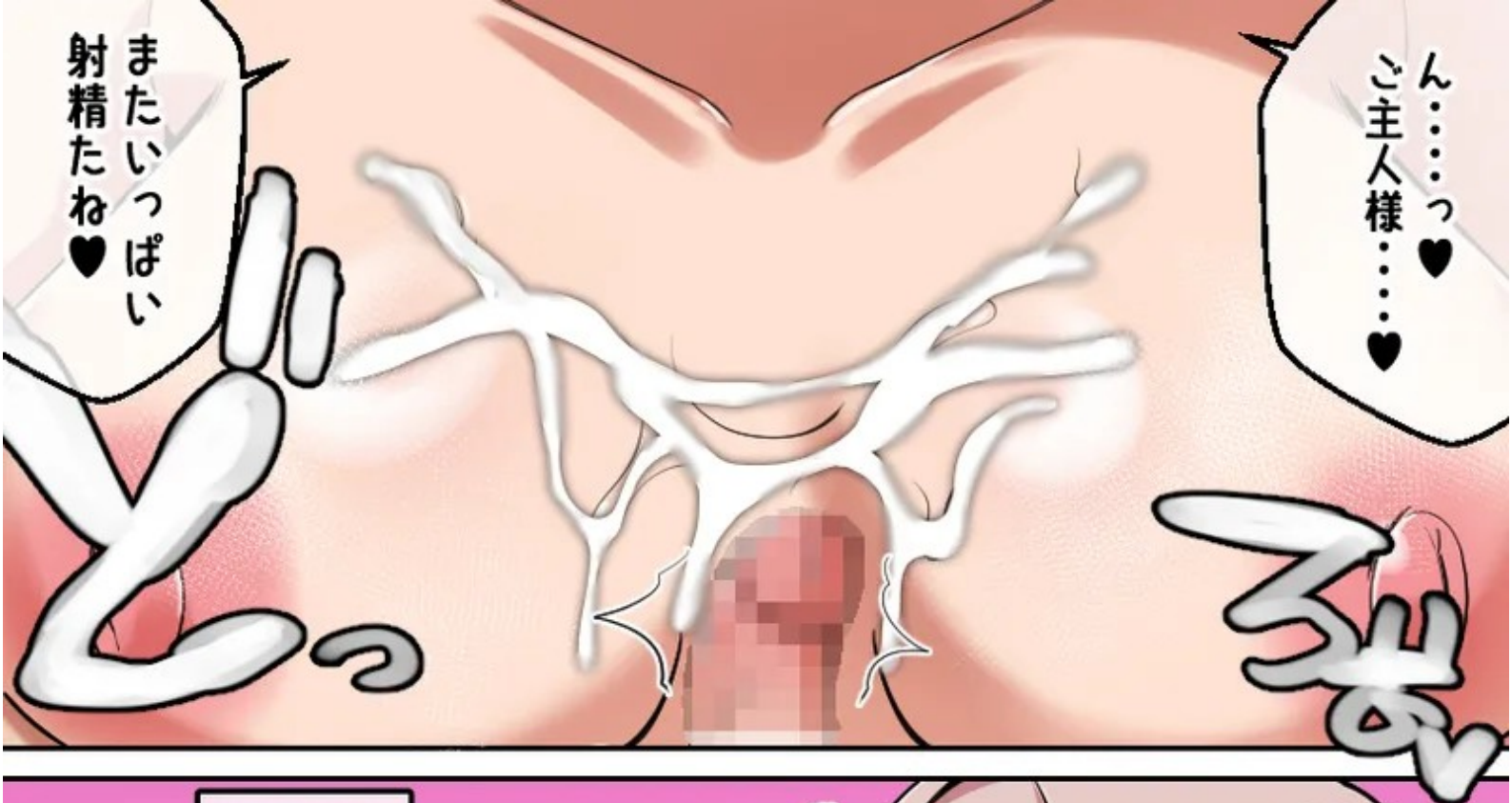


リリースのおっぱいは
何度もボクのお○ちんを
包んでは刺激を与えた

はくあ♡
イクイク……
またイク♡
お○ちんビクッて
反応してる♡

もう早漏なんで
すからご主人様♡
ほら、イクイクイク
イクイク……イク♡

もう自分でも何度
乳内射精したか
わからなかった



ん……っ♡
ご主人様……♡

またいっぱい
射精たね♡



搾り取った
精子をリリースは
口に含み咀嚼して
飲み干す

ボクにわざと
らしく見せつけ
興奮を煽る行為
だった



ふう……♡

もう反応したく
ないのに……
そんなリリースの姿を
見せつけられたら
否応なしにまた
ボクのお○ちゃんは
硬くなる……

それを見たリリースは
またパイズリ搾精を
始める……
もう休ませるつもり
なんて彼女はさらさら
ない

ご主人様
もっと気持ちよくな
りましょうよ♡

パイズリで
気持ちよくなる
だけの身体に
なっちゃいませよ♡

おっぱい大好き
なんですよね？



ち...
ちがっ...

ボクが
助けたのは
...

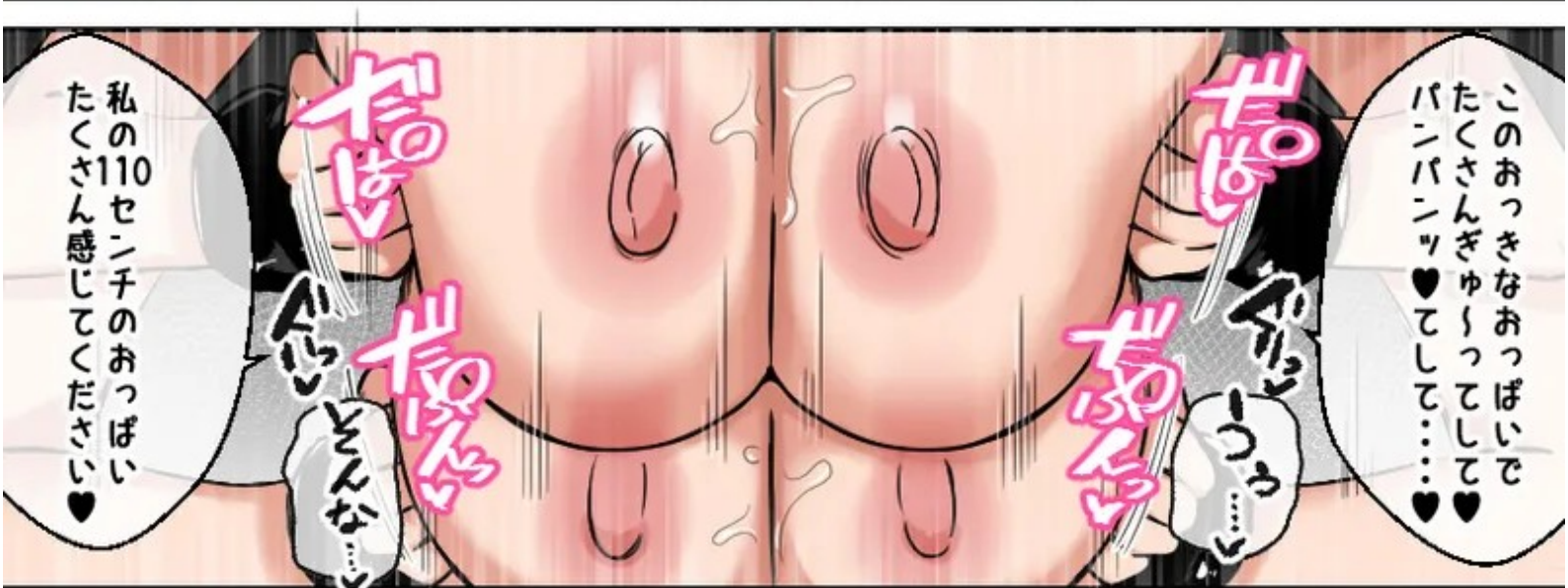
そんな
理由じゃ...



だーかー
らー♡

そういうの
もういい
ですって♡





悪魔は人の欲望を見透かす」と聞いた事がある

善意でボクは助けた
つもりだった……けど
彼女はボクの中の小
さな「欲」を見逃さな
かったのかもしれない
……

彼女の言葉で
ボクの最後の砦は
崩れてしまった





んんん

あっつ……♡
なっが……♡

びゅっ♡
びゅっ♡
て溢れ出て♡
ますよ♡

ずるずる……

ぬと

お……

びゅっ♡

びゅっ♡

びゅっ♡

あらあら……
ご主人様……

完全に
トんじやって
ますね……♡

ふふ……♡
やっと正直に
言ってくれて
私嬉しいです♡

おっぱい大好き
ご主人様には
もっとおっぱいで
気持ちよくして
あげます♡

ボクはこれからも
リリスに支配される
だろう……

これから
ずっと……♡

「パイズリあくま」
の魅力に抗えない
まま……ずっと、ずっと

